



城東図書館 2024 年 11 月 22 日～2025 年 1 月 15 日実施

まちのひと 木田 耕治さんの紹介本リスト

会社員

塞王の楯

今村 翔吾/著

集英社

私自身大好きな近江(滋賀県)を舞台にした戦国歴史小説。

戦国時代、石垣作りを生業とした「穴太衆」の飛田匡介が主人公で自分の積む石垣で人々を泰平を守ることを誓う。決して落ちない城「最強の楯」が世に溢れば戦を起そうとする者はいなくなるという考えである。

だが鉄砲作りを生業とする「国友衆」の若き天才、国友彦九郎は全く反対の考えを持っている。どんな城でも落とす武器「至高の矛」を世に満ちさせて、強力であるが故に使うのをためらうという訳だ。これは今日の核兵器問題に通じる部分がある。

近江が生んだ矛盾の技能集団が激突したのもまた近江であり、冒頭では、私の実家直近にある中野城の戦いで幕を開けます。

モモ

ミヒヤエル・エンデ/作

岩波書店

この物語が発表されたのは 1973 年。それから 50 年余り、皆スマートフォンを片手に寸暇を惜しんで触っている光景をエンデさんは予想していたのだろうか。

「時間がない、ひまがない」こういうことばを私達は毎日聞き、口にします。忙しいのは大人ばかりではありません。子供達までそうなのです。けれどこれ程までに足らなくなった時間って一体何なののでしょうか。人間が人間らしく生きることを可能にする時間。そういう時間が私たちから失われてきたようなのです。

その時間がこの不思議な物語モモの中心テーマです。

読めばこの物語の面白さに引き込まれます。なぜなら舞台は現代社会そのものだから…

読んで下さった方は共に豊かな時間を実現し、モモになりましょう。

ゴリラに学ぶ男らしさ

山極 寿一/著

筑摩書房

昨今の少子化や社会が元気がないように感じられるのは男が自信をなくしているから、そんな風に考えさせられる一冊。

猿人類から進化の過程で分かれてきた人を男に焦点をあてて分かりやすく解説してくれており、文中には

人間の多くの文化では男になるために何らかの試練を課している。どの文化でも少年達は何か打ち勝って男になることが期待されているとあり、性差をなくそうとする現代社会とは逆方向の、多様性を認め合い互いに助け合って生きることが大切だと気付かされた。

女性にモテたい男性必読。男の原点がこの一冊に詰まっています。

男性の皆さん、真の意味で女性に結婚したいと思ってもらえるような男に共になっていきましょう！。

表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)

転載等の際は “大阪市立城東図書館「まちのひと文庫」推薦文”との表記を入れてください

大阪市立城東図書館

大阪市城東区中央 3-5-45 06-6933-0350

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>